授業コード: AA0254

2023 年度 フィールドスタディ (FS) 実施企画

※奨励金のカテゴリーは企画時点のものであり、今後変更される可能性があります。

奨励金の最終的な支給金額はFSの日程終了後に決定します。

テ 加 並 ひ 政 小 い	りな文紀金額はF3の日程終了後に決定します。
テーマ タイトル	津軽とつながる、津軽をつなげる―アフターコロナの奥津軽 FS
担当者	辻 英史・竹本研史
実施時期	2024年2月15日(木)~2月18日(日)
実施場所	青森県五所川原市、中泊町、つがる市
協力機関	企業組合でる・そーれ
募集人員	15 名
学習目的	・「食」を中心とした六次産業化、コミュニティカフェによるまちづくりを学ぶ ・コロナ下における観光や地域のくらしについて、現地の方から学ぶ ・地域のくらしを、特に女性の方々を通じて学ぶ ・奥津軽を例として、地方への移住について考える
行 稻	1日目(午後2時集合):立佞武多の館集合;五所川原市内中心部まち歩き;コロナ下の青森観光についての講演(登壇予定:また旅くらぶ・陶芸ちゅうばち);農家に分かれて民泊(あおもり五所川原グリーン・ツーリズム協議会) 2日目:津軽鉄道(ストーブ列車)にて中泊町へ、中泊ふれあいセンターで現地の方たちと交流 3日目:中泊〜金木エリア(チャーターバス利用):斜陽館・新座敷など太宰治を中心とした観光を学ぶ 4日目:若手移住者による古民家再生農家によるグリーン・ツーリズムの見学(つがる市);4日間のふりかえり(でる・そーれ)(午後2時解散) 宿泊先:ホテルサンルート五所川原(〒037-0053 青森県五所川原市布屋町25)ほか現地までの交通:利用する交通機関は自由であるが、第1日と最終日の日程は東北新幹線+在来線(新青森〜川部〜五所川原)利用を前提とする。
現地訪問の際の 安全対策	
費用	約 46,000 円 (3 泊の宿泊費・食費・プログラム参加費を含む。) 現地までの往 復の交通費は新幹線を学割で利用の場合、往復で約32,000 円の見込み。
奨励金の カテゴリー (予定)	(例) C:3,000 円 D:4,500 円 調査票の内容で選考を行うが、希望者多数の場合はオンラインで面談を実施する
選考基準	(詳細はHoppii 経由で応募者に通知する)。
事前・事後 学 習 の 予 定	1. 顔合わせ、事前学習3回、直前ミーティングをおこなう。11月~2月に毎月1回のペースで対面で実施する。平日の6限など授業のない時間帯に実施する。2. 現地訪問前に中間レポートを提出する。3. 事後学習2回。3月下旬および最終レポート提出後の4月以降に対面もしくはオンラインで実施する。

注 意 事 項	(1) 本コースは新型コロナウィルス感染症の状況によっては中止または時期・内容を変更する可能性があります。 (2) 中止となった場合は、下記の代替措置によって相当する学習をおこない、単位を取得することができます。 (3) 参加許可後に、キャンセルをしないでください。中止となった場合でも費用負担をしてもらう場合があります。
中止の場合の 代 替 措 置	現地とオンラインでつないでの学習+各自でテーマを設定しての調べ学習(レポート提出)。 ※現地スタッフによるオンライン学習を実施する場合は別に費用が発生する可能性があります。
評 価 方 法	事前・事後学習の参加状況、現地訪問での参加姿勢、中間・最終レポートの内容を ふまえて総合的に評価する。